歳出予算事業概要書

			前年度当初予算	前年度現計予算	各課要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源
款	10	教育費						
項	01	教育総務費						
目	02	事務局費	0	0	34,472	0	0	0
大事業	035	のびのび米子っ子スクールサポート事業						
中事業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
小事業	00			0	0	0	0	0
細事業	0							

所属課ｺｰﾄﾞ	5502000000
所属課名	学校教育課
内線番号	
実施計画 部	
実施計画 章	
実施計画 節	
実施計画 細節	
実施計画計上額	

１．事業の概要と必要性

（１）事業の概要
学校の安全管理と学校教育の充実を図るため、多様な経験を有する社会人を教育補助者として学校に配置し、校地内及び学校周辺の巡回を行うことで学校の安全管理の充実を図るとともに、さまざまな形で教育活動の指導に活用することにより、学校教育の一層の充実を図ることを目的に行う。
（２）事業効果
各学校に配置された教育補助者（スクールサポーター）が学校内及び学校の周辺の巡回指導を児童の登下校時や授業中に行うことで児童の安全の確保を図る。また、学習の際に教員の補助者として、個別の支援が必要な生徒の対応を行うことで、よりきめ細かい指導の充実が図れるため、学力向上や生徒の問題行動や不登校の減少につなげることができる。

２．根拠法令

３．用地の状況

４．基本計画との関連

５．本年度の計画効果

（１）事業計画
①非常勤職員型の教育補助者（呼称：スクールサポーター）を米子市教育委員会で３５名任用する。
②３５名の教育補助者を米子市立の全小・中・養護学校３５校に配置する。
③小学校では学校の安全管理を中心とした業務に、中学校及び養護学校では生徒の学力向上を図ることを中心とした業務に、各学校の実態に応じてスクールサポーターの活用を行う。
（２）事業効果
①スクールサポーターが校舎内外や学校周辺を巡回することにより、学校への不審者の侵入や児童の登下校の際の不審者の出没に対する対応や抑止効果により児童の安全確保を図ることができ、学校の安全管理の充実が見込まれる。
②スクールサポーターが教師の補助的指導者として授業に参加し、生徒に対して個別の指導を行うことで、より決め細やかな指導体制をとることができ、生徒の学力の向上や問題行動や不登校の減少を図ることができる。

目的別
性質別

節 区分		金額
1	報酬	0
4	共済費	0

本年度の財源内訳 財源	款	項	目	節	細節	金額

６．財源の説明

（１）財源内訳の積算基礎　　全て一般財源
（２）事務事業評価の反映状況　　新規事業につき未実施